

来年度へ向けて今年度の活動を振り返る

令和2年度 朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（秋季）

私たち朝日庄内森林生態系保全センターは朝日山地を保全管理するため、巡視活動や様々な保全活動に従事しておりますが、広大な朝日山地を私たちセンター職員だけで見回り、保全管理することは到底できません。そこで朝日山地に関係の深い団体から、巡視員としてボランティアにより活動をしていただいています。

今年度も夏山活動の終わりを迎え、その活動を振り返り、来年度の活動の参考とするため、11月28日（土）、鶴岡市朝日中央コミュニティセンター（すまいる）において朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（秋季）を開催しました。



挨拶する富岡計画課長

会議は、出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会、山形県内水面漁業協同組合連合会、鶴岡市朝日庁舎といった関係6団体11名、環境省羽黒自然保護官、国有林職員（東北森林管理局、関係各森林管理署、朝日センター）により行われました。

開会に先立ち東北森林管理局富岡計画課長から、「一年の総括であるこの会議を通じて情報共有を図り、来年度の活動に活かしていただきたい。」との挨拶がありました。

事務局から、巡視員等による巡視活動結果と合同パトロールの報告、センターの活動として森林生態系保護地域における標識整備、植生保護作業、マツノクロホシハバチ調査、オオハンゴンソウ対策、天然生林への誘導の取組について報告があり、その後の質疑応答では、マツノクロホシハバチの情報、今後のオオハンゴンソウ対策、イノシシの増加が議論され、野生イノシシのCSF対応等についても情報提供を行いました。



会議風景

最後に朝日センター笠井所長から「引き続き各巡視員の皆さんが関心をもっている事柄、自然の変化等に関する多数の情報をお寄せいただきたい」との閉会の挨拶により終了となりました。